

午後 試験

“論述の対象とするプロジェクトの概要”での記述内容と論述との不整合など、本年度も、“論述の対象とするプロジェクトの概要”の記述内容の不備が目立った。解答を理解するための重要な情報であり、また、プロジェクトマネージャ（PM）としての経験が表現されるので、的確に記述の上、論述してほしい。

各問に共通した点として、設問アではプロジェクトの特徴に対して、プロジェクトの概要やシステムの特徴についての論述が多かった。また、設問の趣旨に沿わず、問われていないことを記述している論述も散見された。求められているのは、プロジェクトに関する PM の視点からの論述であることをしっかり認識してほしい。

問 1（システム開発プロジェクトのリスク対応計画について）では、プロジェクト立上げ時に存在したリスク要因と想定したリスク、想定したリスクの分析に基づいて策定したリスク対応計画についての具体的な記述が多かった。しかし、リスク要因とリスクの定義を理解せずに混同し、想定したリスクの分析ではなく、既存のリスク要因についての分析の記述も見られた。日ごろから、言葉の使い方には気をつけるようにしてほしい。

問 2（システム開発プロジェクトにおける業務の分担について）では、プロジェクトの管理・運営を効率よく実施するためにチームリーダーなどと分担したマネジメント業務についての具体的な記述が多かった。しかし、PM の承認、判断、指示などのマネジメント業務の分担ではなく、PM の付随業務の分担や分担ルールが明確でない任せきりにしている分担の記述も見られた。

問 3（システム開発プロジェクトにおける進捗管理について）では、重点的に管理するアクティビティを特定して進捗管理を行った経験がうかがえる論述が多かった。しかし、進捗遅れの兆候の把握と完了日を守るための対策との関連がうかがえない論述、発生した進捗遅れへの対処の説明に終始し進捗が遅れた際の原因や影響の分析に言及していない論述も見られた。